

令和6年5月9日

水防・土砂災害(モデル地区)訓練の実施について

(環境市民部危機管理課)

1 概要

令和6年度全国「水防月間(5月)」及び「土砂災害防止月間(6月)」に伴い、市内モデル地区において裾野市主催の防災訓練を実施します。

今年度は、区内に浸水想定区域と土砂災害警戒区域の両方を抱える桃園区で水防・土砂災害訓練を実施します。

2 訓練概要

	内 容 等
日 時	令和6年6月2日(日) 08:30～12:00
場 所	桃園区 区集会所及びその周辺
参加者等 及び 訓練内容	◆ 桃園区民 ◇ 自主防災会役員、浸水害想定区域及び土砂災害警戒区域に居住する住民(自主参加) 約100名 ※ ハザードマップ上、避難対象地域(住民)の具体化 ・ 浸水想定区域:1班2組全部・4組河川沿い、2班7組道下 ・ 土砂災害(土砂災害警戒区域) 1班4組山沿い、3班全部、4班全部、5班22組 ◇ 自助・共助活動 ◆ 要配慮者利用施設 気象情報・避難情報に応じた対応行動の確認・検討 (施設立地場所上、避難促進施設でないデイサービスの施設だが、施設に至る経路が浸水想定区域) ◆ 市職員 10名 市長、危機管理監、危機管理課職員 ◆ 訓練視察(消防・警察を予定)
特性等	◆ 今年度は、区内に浸水想定区域と土砂災害警戒区域の両方を抱える桃園区で実施する。(土砂災害訓練は例年実施しており、水防訓練は昨年久方ぶりに実施し、今年度も継続して実施) ◆ 近年の大雨対応において実際に起こっている状況を再現し、当初、市内全般の土砂災害を主に重点をおいて警戒していると、著しく激しい降雨により、あっという間に花園橋が氾濫危険水位に到達して水防の対応が必要となる場面を訓練想定として実施する。 ◆ 花園橋が通行不可となった場合、市指定避難所の西小学校等への避難ができなくなるため、区としての公助活動が必要が高まる。 ◆ 県防災アプリ「避難所支援機能」の活用について、参加区民へ普及する。

問い合わせ／裾野市 危機管理部 危機管理課 担当:山本 TEL:055-995-1884